

## Lesson 10 敵と対戦して ～国を変えた試合～

### Part 1

③ マンデラは、1994年に南アフリカの大統領になった。その同年に、アパルトヘイトは終わりを迎えた。しかし、黒人は長年経験してきたつらい時代を忘れることができなかった。その当時、白人は、黒人が自分たちに復讐してくるのではと恐れていた。彼らは友人になるにはほど遠かった。実際、彼らは内戦のほんの一步手前のところにいたのだ。

④ この問題を解決するべく、人々にお互いにより親密になってもらうために、マンデラはスポーツを利用できると考えた。彼はラグビーを選んだ。南アフリカでは、ラグビーは「白人のスポーツ」だった。黒人は、南アフリカ代表チームのスプリングボクスをととても憎んでいたのだので、自国のチームではなく外国のチームを応援していた。マンデラは、異なる肌の色を持つ人同士が一緒にスポーツをしたり、同じチームと一緒に応援したりすれば、もっと親しくなれるだろうと考えたのだ。